

検討会配布版

資料4

緊急的な河川堤防の強化方策の 方向性(案)

(1) 基本的考え方

- 越水した場合にも**決壊しにくい堤防**を目指す
 - 関係機関や地域・住民等の理解
- 越水を想定した**危機管理対策**として実施
 - 洪水時の河川水位を下げる治水対策の基本に加えて実施

(2) 対策工法の考え方

- 考えられる工法から現時点で**実現可能性**が高いものを選択
 - 越流水への耐力、越流水への耐力発揮を確実にするための要件の評価を考慮
 - 緊急的に実施する観点から、施工性を考慮
 - 経済性(コスト)、用地、維持管理、長期的耐久性などの必要な要件を考慮
- 現場施工**からフィードバックし**技術開発**に結びつける
 - 性能や施工性が見込めるものは積極的に活用して実証

(3) 区間の考え方

- 決壊発生箇所の**場の特徴の分析**を踏まえる
 - 狭さく部、橋梁の上流部、合流部、湾曲部 などの影響を受け、水位が上昇しやすい区間
 - 洪水時に水位が上昇しやすい事象が当面解消されない区間
 - 近年災害の復旧事業等において必要な箇所については先行的に

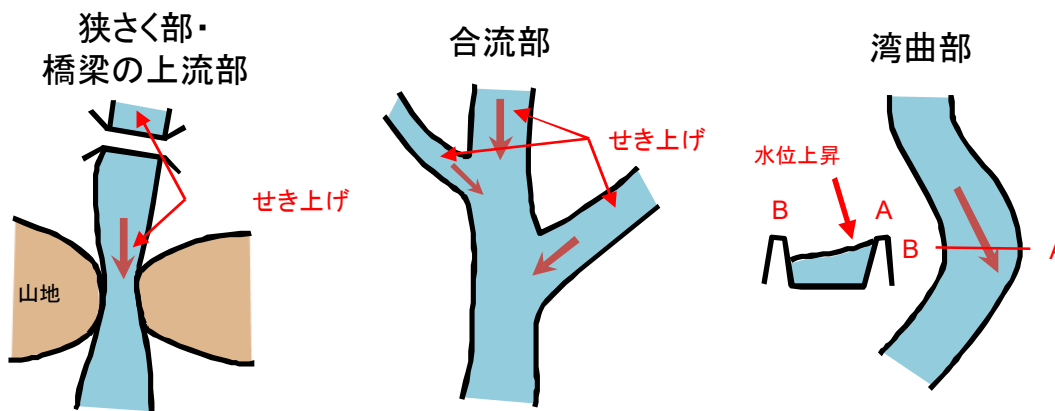
(4) 留意事項

- 下流側への影響、維持管理の方法、長期的機能保持等について考慮
 - 維持管理方法についても検討
 - 災害復旧事業完了後の下流側の水位状況を確認・考慮

【補足イメージ】(3)区間の考え方

- ・狭さく部、橋梁の上流部、合流部、湾曲部 などの影響を受け、水位が上昇しやすい区間
- ・洪水時に局所的に水位が上昇しやすい事象が当面解消されない区間

【水位上昇しやすい箇所の例】



河川水位縦断面イメージ

